

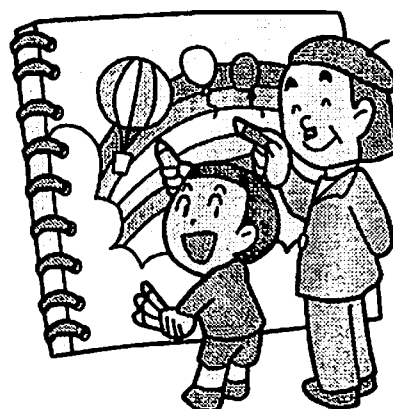
絵画が語りかけるものとは何か！

演題「富士山と絵について」

渡邊八郎尉門さん来校

校長室にご寄贈頂いた『晩秋の里』制作者の渡邊八郎尉門さんが、絵画についてお話して下さることになりました。

「富士山と絵について」や、「色彩が語りかけるものとは何か」など、美術の世界の奥深い話をたっぷり聞くことが出来そうです。



期 日：3月7日（水）
時 間：8：35～9：20
場 所：南部小学校一階多目的教室
対 象：4・5・6年生
演 題：「富士山と絵について」

渡邊八郎尉門画歴（概略）

大正10年 山形市に生れる
芸術会会員 川島理一郎先生に師事
昭和35年 第4回日展特選候補「寂光」(F80)
昭和37年 第5回日展入選「雪の蔵王」(山形美術館収容)
昭和39年 第9回新世紀展「なまはげ」新人賞、会員特選賞
日展入選数回、新世紀展新人賞
昭和41年～47年 ヨーロッパ外遊
その間、フランス、アカデミージュリアン美術学校校長アン
リーマチスに学ぶ
昭和42年 フランス国際展 ル・サロン展
「壁」、「不動王」(F50)入選
昭和47年 滯欧帰郷作品渡邊八郎尉門個展 於 山形美術館

昭和53年 第15回宮城芸術協会展
古城の見える丘「スペイン」芸術祭賞受賞
昭和54年 白亜会創立に参加 創立委員、審査委員
昭和55年 宮城県芸術協会審査委員
昭和56年 第3回白亜展
「吹雪く最上川」最高賞 川島理一郎賞受賞
白亜展にほぼ毎回出品
昭和63年 遠き日の思い出「初市」最高賞 参議院議長賞受賞
平成4年 帆船サン・ファン・パウティスタ号(変形60号)
天皇、皇后両陛下の天覧を賜る
平成10年 作品サン・ファン三部完成
宮城県慶長使節船ミュージアム、サン・ファン館収容
平成12年 第2回回顧展 宮城県大街美術館
平成12年 白亜会審査委員長
平成15年 「近作展」寒河江市 ホテル シンフォニー
平成17年 白亜会名誉顧問 特別会員

